

## 環境会計(消費財事業)

環境会計項目	主な内容	投資 (CHF)	費用 (CHF)
<b>環境保全コスト</b>			
1. 事業エリア内コスト		454,282	656,085
(1) 公害防止コスト	大気汚染 水質汚濁 土壌汚染 騒音 悪臭防止	121,443	239,097
(2) 地球環境保全コスト	省エネルギー、省資源、環境負荷物質削減全廃コスト	326,134	146,428
(3) 資源循環コスト	産業廃棄物の削減、リサイクル、処理処分コスト	6,704	270,560
2. 上流・下流コスト	事業エリアの上下流で発生する環境負荷の抑制コスト	0	509,632
3. 管理活動コスト	EMS 取得 / 運用費用 環境教育費用	0	33,715
4. 環境研究開発コスト	環境負荷低減型の商品 / 容器 / チャンネル開発	1,134	3,330
5. 社会活動コスト	社外環境保全を行う社内外組織や地域住民への支援コスト	0	3,134
6. 環境損傷対応コスト	事業活動が環境に与えた損傷を修復するコスト	0	0
	<b>Total</b>	<b>455,417</b>	<b>1,205,897</b>
<b>環境保全対策に伴う経済効果</b>			
7 収益	有価物及び老朽固定資産の売却, 余剰電力の外販など	0	-154,957
8 費用節減	省エネルギーによる費用節減、省資源による費用節減など	-318	-50,381
	<b>Total</b>	<b>-318</b>	<b>-205,338</b>

\*集計期間: 2022年1月1日~12月31日

\*集計範囲: 米国を除く消費財事業拠点

日本(高槻・徳島・山梨工場、オフィス9か所)、欧州(ドイツ工場、オフィス5か所)、中国工場

\*算定方法: 環境省「環境報告書ガイドライン2005年版」を参考に作成

投資額: 設備投資額から環境負荷低減の貢献部分を抽出し、当該部分の合理的推定金額を記入

経費: 人件費、出張旅費、減価償却費を除く。

経済効果: 実質的效果を対象とし、購入エネルギーなどの単価変動による差益は含まず。

費用節減: 当該年において実際に節減した金額で、通年換算は未実施。

### 通貨為替レート vs. CHF

通貨	スイスフラン
100 JPY	0.73
1 USD	0.96
1 EUR	1.00
1 SGD	0.69
1 RMB	0.14

\*2022年度総括:

- 各事業拠点は2021年より再生可能電力の調達を推進するも2022年後半より調達困難となった。
- 既存拠点においてもLED化率を高めるための投資を継続的に実行中。
- 容器包装リサイクル法に伴う課徴金はおおよそ69百万円であり、この数年間では大きな変化はない。
- ドイツ工場の河川水の冷却利用を本格化